

これまでに肝癌の外科治療を受けた患者さん、 患者さんのご家族へ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院肝・胆・膵外科では「肝癌に対する外科的切除の有効性および妥当性の評価」という研究を行っております。この研究は、肝癌に対する外科治療の有効性と妥当性を評価することを主な目的としています。そのため、過去に肝癌の外科治療を受けた患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、肝癌の方で、西暦2009年1月1日から西暦2025年8月31日の間に肝・胆・膵外科で外科治療（手術）を受けた方です。

利用させていただく検体は下記です。

- 利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、病理検査）、手術前後に行った他の治療（化学療法など）の内容、予後

期間：西暦2009年1月1日～西暦2025年8月31日

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- 研究実施期間 研究実施許可日～西暦2027年3月31日まで
- 研究責任者 齋浦明夫

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、肝・胆・膵外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要します。そのため同意を取得する代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研

究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することとはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 肝・胆・膵外科

電話：03-3813-3111

研究担当者：武田良祝、入江彰一